

真っ白な産毛は、銀世界に生まれる命の保護色



ゴマフアザラシ アザラシ科ゴマフアザラシ属 *Phoca largha*

北半球の北方海域に広く分布する海棲哺乳類。漢字で表記すると「胡麻斑海豹」。その名のとおり、ゴマのような黒い模様が散らばっている。日本の水族館・動物園で最も多く飼育されているアザラシ。

©Angell Williams

芸はしないが、潜水能力はバツグン

アザラシには、体重が50kgのものから3,700kgのものまで、「19」もの種類があるのをご存じでしたか。日本近海で見られるのは5種類で、ゴマフアザラシもその1種。北海道稚内市には、11月から4月の間、越冬のために多いときで1,200頭ものゴマフアザラシがやってきます。昨年は、珍しいことに宮崎県串間市に姿を現した子がいました。「すわちゃん」の愛称で一躍人気者になったそのアザラシの種類も、ゴマフアザラシです。「アシカ」とよく似ている印象がありますが、実は身体づくりが少し異なります。どちらも「鰭脚（キキョク）類」という種類で、4本の足が鰭（ヒレ）のような形をしています。アシカは後ろ足を前に曲げることができますが、アザラシは曲げることができません。そのため、陸上ではあまり自由に動けず、アシカのように芸をすることができないのです。

しかし、潜水能力は高く、20分程度は優に潜れます。潜水が得意なのは、体内に酸素を貯蔵できる場所があり、水中ではその酸素を使っているからです。その上、深くまで潜ることができ、その深度は300mに達すると言われています。

牛乳の何倍もの栄養分がある母乳で育つ

ゴマフアザラシの繁殖期は3～4月頃。妊娠期間は9ヶ月～12ヶ月です。一産一仔で、陸上あるいは海氷上で出産します。出産する時期、あたりは真っ白な雪の世界。つまり、赤ちゃんが真っ白なのは、産毛が保護色になっているためなのです。

赤ちゃんは母親のミルクですくすくと育っていきます。このミルク、牛乳の何倍もの脂肪分や栄養分を含んでいるので、短期間でどんどん脂肪を蓄えていきます。そして4～5週間で乳離れをし、ひとりで自由に泳ぎ回れるようになります。白い産毛も大人と同じものに生え変わってしまいます。あの愛らしい姿を見られるのは、ほんのわずかな期間なんです。

水族館でも人気者ですが、元来、警戒心が強い動物で、人間が近寄ると逃げてしまいます。水族館で飼育された子たちは、人に慣れているので、悠々と泳ぐ姿を見せてくれます。ぜひ、会いに行ってみましょう！